



市内小学校での給食の様子

問 現在の計画では1日当たりの最大調理食数を4500食としているが、事業開始から10年後には生徒数が千人程度減少すると見込まれている。20年の事業期間で安定的な給食事業を運営するために施設の有効活用が必要と考えるが、今後の取り組みはどのようなか

答 まず、中学校給食の専用施設として安全・安心を確保しながら給食事業を確実に運営したい。その上で受注希望者からの提案などがあれば適切に判断していきたい。

一 中学校給食基本計画について



緑水クラブ 木村 眞澄

生徒たちが喜ぶ 中学校完全給食の実現を



一般質問

一般質問は、6月13日、14日、17日の3日間行われ、18人の議員が登壇しました。質問は、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。一般質問は、3面・4面・5面にも掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)

問 犯罪の抑止効果が期待できる東海大学前駅南口広場への交番移

二 安全で安心できるまちづくりについて

答 指定から30年が経過する生産緑地は令和4年以降減少が想定されるため、※特定生産緑地の活用により抑制につなげたい。面積要件の緩和も検討が必要と考える。

一 都市農地の保全・創出について



自民・新政 高橋 照雄

生産緑地の減少を抑制し 快適な都市空間の保全を

二 高齢者の運転免許返納に向けての支援について

答 ささまざまな事情でやむを得ず運転を続ける高齢者には、運転免許の返納を後押しするような支援が必要と考えるが、本市として独自の支援をする考えはどうか。

一 交番の統合・再編について



創泰クラブ 谷 和雄

人口減少の速度を緩やかに 行政サービスの確保に努めよ

三 学校における働き方改革について

答 平成30年8月に移転について、今後の見直しはどうか。

転について、県や県警本部などと協議を重ねてきたとのことだが、

一 副教材について

無所属 吉村 慶一

保護者が購入する学校指定の副教材を全廃せよ

答 公共交通の利便性向上などに努めるとともに、県内での支援の動向にも注視しながら検討したい。

許証の返納を後押しするような支援が必要と考えるが、本市として独自の支援をする考えはどうか。

答 本市には交番7カ所、駐在所7カ所、警備派出所1カ所がある

問 平成30年3月に策定した学校業務改善方針に基づく、教職員の負担軽減の取り組みはどうか

答 学校ICT化、部活動休養日の設定などを推進するため、学校業務改善推進検討会を設置し、学校現場と一体となり負担軽減に取り組んでいる。

問 小・中学校で使う副教材の保護者負担額は、学校や学年間でばらつきがある。平成30年度の年額で小学校の最高は、上小学校5年生で7630円、最低は末広小学校1年生の2360円、中学校の最高は、南中学校1年生で8666円、最低は本町中学校3年生の3030円であった。上小学校5年生の負担額は、その年度の就学援助の学用品費の約66%になる。最新の教科書は内容が充実している練習問題も多い。また、本市の

教育委員会は独自に「振り返りプリント」を発行している。子どもが貧困が問題化している今、市販の副教材を全廃してはどうか。

答 子どもが貧困対策が重要な現状もあり、教育委員会としては、改めて校長会などと連携して副教材の選定や使用状況を注視し、保護者の負担軽減を図りながら、教育水準の改善向上につなげていく。

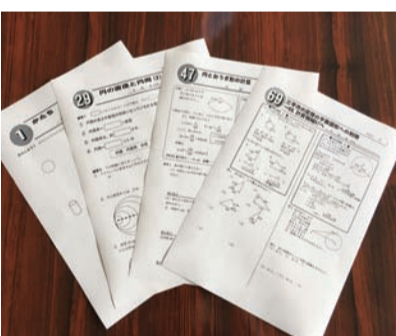
二 就学援助制度について

答 沖縄県では、就学援助受給有資格世帯の約半分しか申請を出しておらず、その理由は、制度を

この判断基準においては、人口割合に応じた考え方が参考となる。本市の人口減少の速度をできるだけ緩やかにすることが、市民への行政サービスの維持につながるものと考えられる。企業誘致や医療環境の整備など、市民が暮らしやすいまちとなるよう、行政サービスの確保に引き続き努力してほしい。

二 地産地消の取り組みについて

問 取組み状況と中学校給食への農産物の活用はどうか。



教育委員会が発行する振り返りプリント

問 平成30年度から鶴巻地区の浸水対策の水路整備が始まり、整備も終盤に差し掛かってきたが、効果検証はどうか。

答 1時間に52・5ミリの降雨時は、一部工事中箇所における道路冠水があったが、その他には浸水はなかった。大雨時、整備した箇所

問 時間雨量50ミリに対応可能な整備とのことだが、50ミリ以上の大雨における地域住民への説明はどのようなか。

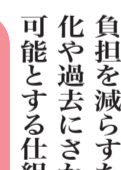
答 地域住民には、事業の検証結果知らないことや周囲の目が気になって利用しづらいことがあるという新聞報道があった。本市のデータからは、有資格世帯はほぼ申請しているという実態があることが想像できるが、保護者の時間的な負担を減らすために手続きの簡素化や過去にさかのぼっての申請を可能とする仕組みを要望する。

二 事業系ごみの現状と対策について

問 一般廃棄物の回収を収集運搬業許可業者に委託している事業者は955社とのことだが、委託しない事業者の把握はどうか。

答 収集作業員や市民からの情報により、実態把握をしている。

議長公務(4月~6月) 議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページで公開しています。阿蘇 佳一 議長



一 鶴巻地区におけるまちづくりについて

問 平成26年度から鶴巻地区の浸水対策の水路整備が始まり、整備も終盤に差し掛かってきたが、効果検証はどうか。

答 1時間に52・5ミリの降雨時は、一部工事中箇所における道路冠水があったが、その他には浸水はなかった。大雨時、整備した箇所

問 時間雨量50ミリに対応可能な整備とのことだが、50ミリ以上の大雨における地域住民への説明はどのようなか。



鶴巻地区浸水対策事業の 十分な説明を



塩貝橋付近の下水道工事の様子